

家さがしプロジェクト



桜井龍一郎

プロフィール

兵庫県生まれ。1983年スポーツ事故により第4、5番頸髄を損傷、両上肢の一部と胸から下が動かない重度障害者となる。大阪・兵庫頸髄損傷者連絡会ではホームページ、メールの管理を担当。パソコン・インターネットを利用しての在宅勤務は当初の予想に反して十数年続いている。困りました。プロフィールと言っても皆様にご紹介できるような経歴もないし、日々熱意溢れる生活を送っているわけでもなく、至って平凡な障害者をやっております。自立生活の目標を掲げるも蝸牛の歩みでいまだ実現に至らず、今回のシンポジウムを状況打開のきっかけにできればと考えています。

プロジェクト報告

今回のシンポジウムで、家を探して自立生活に移行するのを目標に行動し、結果を発表することになった。現在同居中の両親も高齢になり、かねてから自立生活を行うことは考えていて、家探しも2006年ごろから行っていた。その頃からの経緯も含めて、今日までの状況（のはじめの部分）を報告したい。

2006年2月に一時期両親が不在になる予定になった2005年後半ごろ、この間の介助者を確保するため、いくつかの事業所に相談を持ちかけたのがそもそものきっかけだった。何度かの話し合いの結果、これを機に自立生活への移行を進めることになり、市と交渉した結果、自立生活に移行できる介助体制が何とか確保できたので、家探しを始めることとなる。

2006年5月に不動産屋を巡って家探しを開始する。今までこういう経験が全くなかったので、障害者と一緒の家探しをした経験のある、利用している某事業所の介助者に付いてもらって、いざ不動産屋へ。こちらの条件を伝えて何件か物件を紹介してもらう、という一連のやり取りを何店かの不動産屋で行ってこの日は終了。

数日後、初日に紹介してもらった物件を実際に見学に行くことになった。実際に現地に行ってみると、1件目はマンションのエレベーターが狭く電動車いすを介助者に手で動かしてもらって何とか入る状態で、内部も風呂場が狭く、ここでの生活は難しいと判断。2件目は玄関の段差が大きく、ここも難しい。私の希望する2部屋の物件の家賃は私の収入ではちょっときつい。もう一つ部屋数の少ない物件になると、風呂場のスペースが狭いことが多い。私の場合、風呂用車いすでシャワー浴をするので、浴室のスペースがほしい。この二つの問題点をクリアできる物件があるか、今後の鍵になりそうだ。

その後何度か物件を当たったが、助成金制度や改造に関するトラブルなど、思わぬ問題が起こったりもした。はたして自立生活は実現したのか？ ここから先の詳細は、紙面の都合上掲載できなかったのですが、続きはシンポジウムで。

ひとり暮らしプロジェクト



赤尾広明

プロフィール

大阪府吹田市在住。1969年11月7日生まれ。高校2年の時に学校の体育の授業中の事故で頸髄損傷（C4レベル／完全四肢麻痺）となり、その後しばらくは現実と向き合うことができず、今でいう“ひきこもり”のような生活をしていましたが、1992年にスキューバダイビングに挑戦したことがキッカケで障害を受容。2001年4月に設立された地元の作業所のスタッフとなって吹田市のバリアフリーマップを製作したことからバリアフリーの啓発活動に取り組むようになり、2003年には障害者の自立を支援するNPO法人自立生活センターFREEの代表に就任したことで障害者自立運動に目覚めました。同年、大阪頸髄損傷者連絡会の会長に就任。現在はFREEと頸損連で活動する傍ら、趣味である映画とライブを見に行くこと＆食べ歩きすることが最大の楽しみ。



～自分の望む道を自分らしく生きる～

家族の介護を受けながらの在宅生活を始めてから20年が過ぎた。当時高校生だった僕もいよいよ40代に足を踏み入れようとしているが、当然ながらその分、両親も年老いたことになるので、家族介護も限界のように感じていた。これまで“自立”を考えたことがなかったわけではなく、むしろ年々その思いは強くなっているが、自分への甘えから踏み切ることができなかった。今回、この機会に自立生活の実現に向けた準備を始めたが、準備を通して感じたのはいかに自分が“言い訳”をしていたかということ。「自立したい」という強い思いがあればその実現は決して不可能ではなく、モチベーションさえ強ければクリアできないことはないということに僕自身気づいた。家族との生活は安心と引き換えに何かしら“束縛”があった。四肢完全麻痺での一人暮らしにはリスクが伴うかもしれないが、その代わりに自分が望む道を自分らしく自由に楽しく生きることができると。この機会に自立しよう！今はそう思いながら一步一步準備を進めているところである。

今回のシンポジウムでは自立実現に向けてクリアしなければならないさまざまな事情のうち、①物件探し、②介助者（事業所）の確保、③公的サービス（身体介護など）を利用するための行政交渉について、これまでの経過と今後の課題を報告したい。



韓国旅行のヒキ

内容	平均的な週間ケアプラン						
	月	火	水	木	金	土	日
08:00 家事援助	朝食準備・起床準備						見守り
09:00 身体介護	着替え・朝食・洗顔・歯磨き						見守り
10:30 身体介護	排泄・ストレッチ・入浴					昼食準備・起床準備	
11:30 家事援助	昼食準備						
12:00 身体介護	昼食など					着替え・入浴	昼食など
13:00 家事援助	掃除・洗濯・買い物など						
14:00			仕事				
15:00					仕事		
18:00 家事援助	夕食準備					余暇活動	余暇活動
19:00 身体介護	夕食・歯磨き・清拭・排泄						
21:00	見守り						
23:00	就寝準備						
～	見守り						